

広報

ときめき きらめき いきいきを伝える



関市イメージキャラクター
「関＊はもみん」

Seki

せき

2016

7

No.1665

トラフェス!!
Traditional Festival

夏祭り

TOPICS

- ・参議院議員通常選挙…P6
- ・関市ビジネスサポートセンター…P8
- ・お知らせ…P22~29
- ・しあわせヘルスだより…P30~32
- ・文化会館／図書館…P33



花火だけじゃない! 関の夏はまつりだらけ

これが関の夏まつりだ!

いよいよ夏到来! 夏の楽しみといえば夏まつりですね。そして、関の夏は地域を代表する伝統のまつりが盛りだくさん!!

男子と女子が提灯を交換したり、手ぬぐいや提灯を奪い合ったり、世相を風刺した“だし”が野菜で作られていたり、幻想的なまつりや迫力満点なまつり、そんな知らないと損する関の伝統のまつり (Traditional Festival〜トラフェス〜) を大紹介(^O^)/。



1



2



3



4



5



6



7



9



8

チンチカカ 8

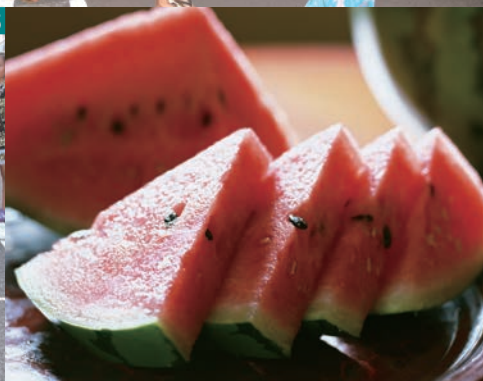
明治初期に始まった精霊送りの伝統行事。昭和32年に一時中断されたが、地域の伝統を次の世代に伝えたいと、平成11年に復活した。行事の運営には地元住民70人以上が携わっている。暗闇に2本の巨大な火柱が出現する勇壮な光景は必見。

1 関市民花火大会 8月13日(土) 稲口津保川河畔 2 万燈流し 7月31日(日) 長良川河畔 3 千灯供養祭 8月17日(水) 高澤観音 4 万燈流しに使われる煎餅 5 円空川まつり 7月31日(日) 弥勒寺 6 ちょうちんまつり 7月23日(土) 洞戸通元寺津島神社 7 天王まつり 7月30日(土) 春日神社 8 チンチカカ 8月15日(月) 津保川百年橋〜梅ノ木瀬橋一帯(関市小屋名) 9 お十七夜 8月17日(水) 大門町

天王まつり 7

天王祭りは別名“提灯(ちょうちん)祭り”とも呼ばれ、春日神社の能舞台で行われる、夏の風物詩ともいえる祭礼行事。

竹の小枝につけられた小さな提灯に子どもの氏名、年齢、干支、性別を墨書きし、神前に捧げ、男子と女子の提灯を交換するもので、付き添う両親は子どもの健康を願うとともに将来の良縁を祈願する。



10 13 ふるさと夏まつり 7月30日(土) 本町通り 11 燈花会 7月30日(土) 春日神社
12 盆おどり 14 地蔵まつり 8月23日(火) 吉本町、西町、吉田町、出来町 15 関市民花火大会 8月13日(土) 稲口津保川河畔 16 千灯供養祭 8月17日(水) 高澤観音
17 洞戸津島神社の狛犬



千灯供養祭 3 16

般若心経を写経しローソクに巻き、火を灯して先祖の供養または祈願をする伝統行事。

20メートル四方の卍型に並べた、願い事や名前が書かれた紙を巻いたろうそく約500本の灯りが闇夜に浮かび上がる様は幻想的。



お十七夜 9

新長谷寺(吉田観音)の観音供養にちなんだ行事で、言い伝えによると江戸時代にこの地で流行病が発生し、多くの人が病死したので、住民たちが自分の家の軒先に野菜や穀物をお供えして観音様に平癒を祈願したところ病気が治ったという。ちょうどその日が観音様の祭日の前晩にあたることから、このお十七夜が始まったといわれている。



伝統を紡ぐ、勇壮なまつり。

通元寺

開催地：洞戸通元寺津島神社
開催日：7月23日

ちようちんまつり

地域で生きるといふこと

「地域での生き方を大切にしていきたい」
洞戸通元寺の氏子総代長 野村武宏さんの言葉は、地域への愛情に溢れている。

毎年、7月20日過ぎの土曜、洞戸通元寺の人口は倍に膨れ上がるといわれる。津島神社で開かれる、地域を代表する伝統の祭礼【ちようちんまつり】にあわせ、地元出身者が帰省するためだ。

聞けば、【ちようちんまつり】の時期だけでもと、帰省する人々もいるそう。

「働き盛りの子ども達は、普段はなかなか帰省もままならない。しかし、この時だけは前もって準備でき、まつりを思っって帰省を楽しむにしている。」「伝統を守って次の世代に引き継いでいくことは、地域で生きるということに繋がっていく。」とやさしく語る野村さんの言葉からは、地域で生きることの本質が垣間見えた。



提灯がぶら下げられた竹
厄年の人は手ぬぐいなどをつける



提灯と手ぬぐいを奪い合う人々

これが、【ちようちんまつり】だ！

通元寺地区で生活する80余世帯が、準備された長さ約8mの竹に提灯を奇数個ぶら下げる。厄年の人がいる家庭では、年の数の手ぬぐいなどを別の竹につけることがこのまつりの慣わしで、準備される竹の数は全部で1000本以上。

午後9時前、住民は提灯に明かりが灯された竹を手に、津島神社まで数百mの道のりを練り歩く。厳かな雰囲気の中、提灯の明かりが揺れ動く様は非常に幻想的で、まつりの見どころのひとつに数えられる。

境内に到着後、まつりはクライマックスを迎える。竹は高さ3メートルの石垣に上げられ、まつりを支える「燈元」や「通元寺友の会」会員が中心となり、下に待ち構える群衆に向かって掛け声に合わせ竹を振り下ろす。

提灯や手ぬぐいを

持ち帰れば、厄除け、家内安全、商売繁盛などのご利益があるといわれることから、若者が我先にと奪い合う勇壮な光景は必見。



野村 武宏さん



クライマックスの舞台、住民が目指す
津島神社の石垣

小屋名

開催日：8月15日

チンチカカ

chinchikaka

子どもの頃には、^{たいまつ}松明を持って練り歩きました。結婚して市外で生活をはじめても、ふるさとのよき思い出で、夏に帰省する際の楽しみの一つです。

チンチカカを開催することで自然環境を守ることの大切さを学び、さらには地区の絆が深まっていると感じます。地元に戻ってからもこの伝統行事を受け継いでいきたいです。



梅ノ木瀬橋を渡るたいまつ行列

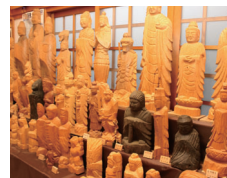
池尻

開催日：7月31日

円空川まつり

enku

円空上人（えんくうしょうにん）の法要や、水没者・川の供養とともに、夏の一日を市内外の観光客に涼しく楽しく過ごしていただくために開催されます。クライマックスでは、ろうそくを付けた煎餅を小さな船に見立て、清流長良川に浮かべて供養する「万燈（まんと）流し」が行われます。



弥勒寺にて



久世住職による護摩焚き（弥勒寺）

市内一円

開催日：7月～8月

盆おどり

bonodori

話題曲をおはやし用に編曲したり、会場を盛り上げるためトランペットを加えるなどの工夫をしたところ、最近では来場してくださるお客様が増えました。今夏も、みなさんが盛り上がるのを楽しみにしています。



関おはやし会 兼松 幸子さん

関おはやし会



盆おどり（本町通り）